

Press Release



2023年10月26日
トランスコスモス株式会社

トランスコスモス、GHG 排出量データ収集・算定を自動化するサービスを提供開始

担当者工数を 97%削減

トランスコスモス株式会社(代表取締役共同社長: 牟田正明、神谷健志)は、お客様企業の GHG 排出量算定に必要となるデータを自動で収集し、算定するサービスを事業化します。本サービス導入により、データ収集・分析業務の工数削減、正確性の向上、タイムリーな分析環境の構築に寄与します。事業化を前に、トランスコスモス内のデータを用いた実証実験に成功しており、担当者工数の 97%削減(*1)を実現しました。脱炭素をはじめとした持続可能な社会の実現に向けて、お客様企業が GHG 排出量削減に注力できる環境を整え、お客様企業の企業価値向上を支援します。

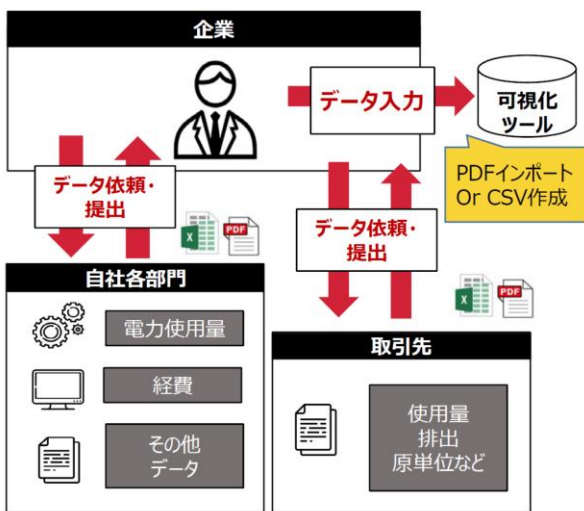
■既存のシステムから GHG 排出量算定のためのデータを自動連携することにより、 担当者のデータ収集・算定工数を大幅に削減

GHG 排出量算定のためのデータ収集業務では、従来は各拠点に過去の請求書をもとに電力プランや電力使用量を Excel に転記依頼、経理担当者にシステムからデータの抽出を依頼し、算定担当者がとりまとめや係数との紐づけを実施していました。本サービスでは、すでに経理・調達等業務で格納されているデータを直接クラウドシステムへ連携し、データ収集・算定の工数を削減します。

GHG排出量算定における課題

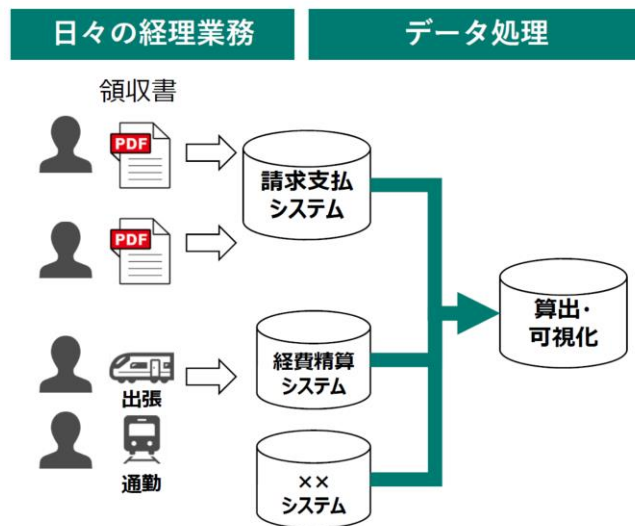
<問題点>

企業担当が各所に依頼してデータを収集、
入力するという工数・手間・精度



<当社サービスの思想>

実はデータの多くが社内システムに格納されている
→直接データ連携し半自動化



© transcosmos inc. All rights reserved.

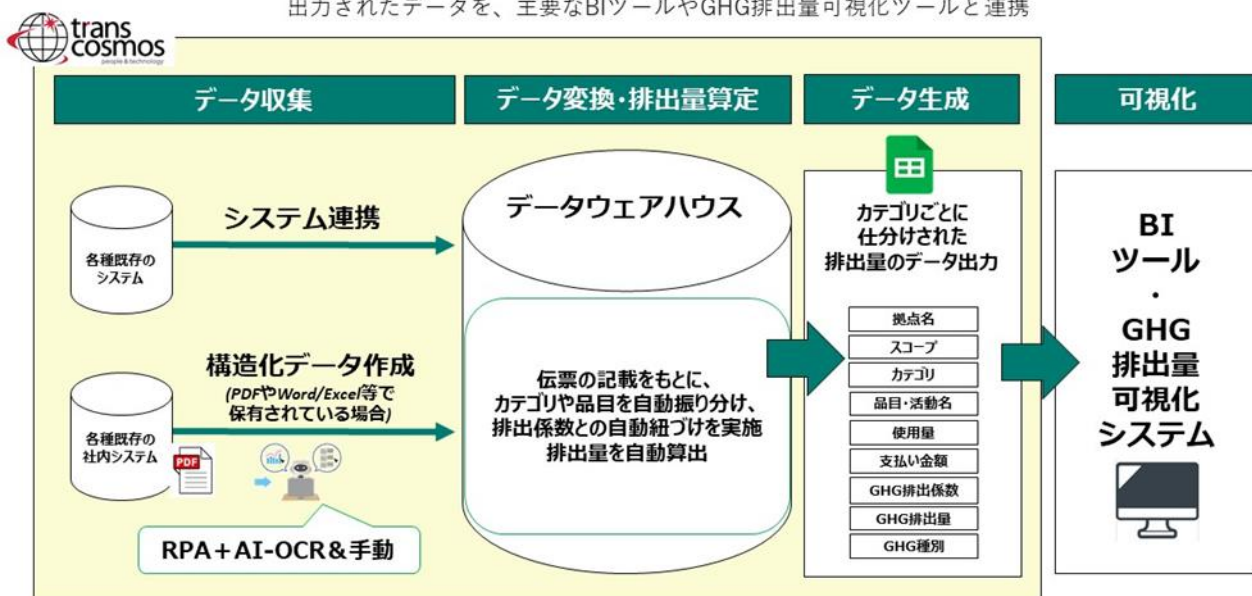
■連携したデータをもとに、排出係数と自動紐づけを実施し、「購入金額/物量」「排出係数」「排出量」が一元化したデータを出力。月別でのタイムリーな排出量の確認・分析を実現

電気料金の請求書など、排出量算定に必要な非構造化データは、BPO×AIのケイパビリティを用いてローデータ化。必要データが揃ったら、記載情報をもとにクラウド上で排出係数と自動紐づけ、算定まで自動化するため、担当者の工数をかけることなく「購入金額/物量」「排出係数」「排出量」などのデータが生成される世界観を実現します。出力されたデータは、主要なBIツールや、各種GHG排出量算定ツールと連携が可能です。また、システムからデータを自動連携することにより、先月分のデータが翌月数営業日で確認が可能(*2)となり、月別でのタイムリーな排出量の確認・分析を可能にします。費用については、初期導入300万円～、保守運用30万円～で提供予定、継続的なESG情報開示を後押しします(*3)。

当社GHG排出量算定ソリューションのスキーム

データ収集を半自動化、排出量算定は必要なアウトプットに向けて自動で振り分け／紐づけ／算出

出力されたデータを、主要なBIツールやGHG排出量可視化ツールと連携

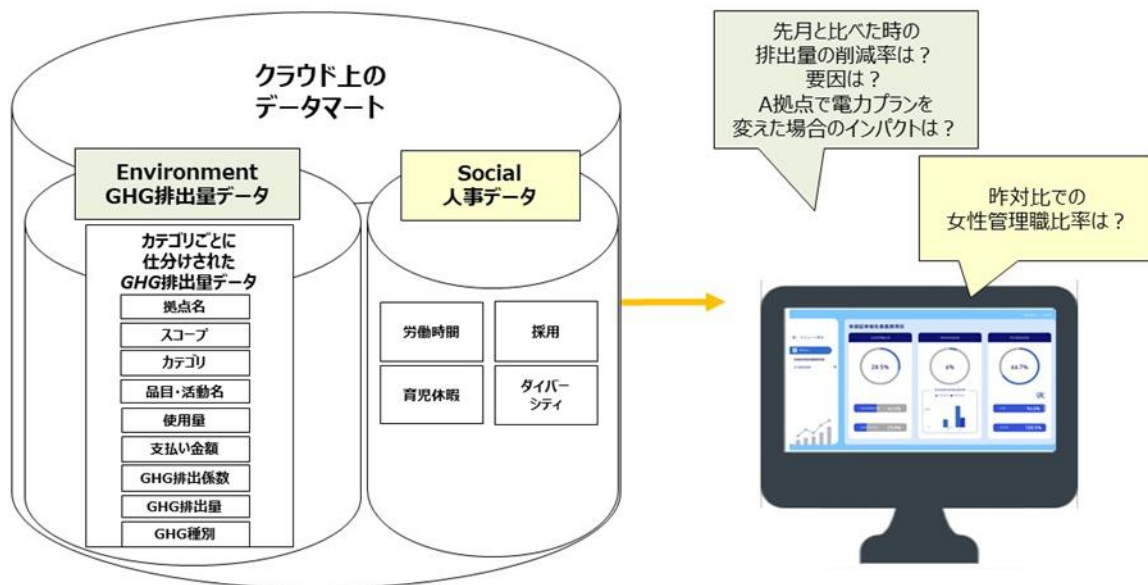


© transcosmos inc. All rights reserved.

■人的資本情報開示義務化にもあわせて対応できるデータ基盤の構築が可能

2023年5月にサービス提供を開始したHCMアナリティクス(*4)を本サービスとともに導入することで、人的資本開示関連のデータとあわせて使用中のBIに反映させることも可能です。GHG,人的資本以外のESG関連情報も、今後拡充予定です。

人的資本サービスと併せて、ESG関連のデータをリアルタイムで可視化できるようなDWHの構築も可能



© transcosmos inc. All rights reserved.

*1: 当社内検証での数値であり、他社での削減効率を保証するものではありません。

*2: 領収書や請求書が格納されるタイミングに依存します。

*3: システムや算定対象の子会社の数によって変動します。商談にてお見積りします。

*4: HCMアナリティクスプラットフォームについてのリリース: <https://www.trans-cosmos.co.jp/company/news/230530.html>

●トランスコスモスのサステナビリティへの取り組み

トランスコスモスでは、代表取締役会長を委員長とするトランスコスモス SDGs 委員会を設置し、ESG(環境、社会、ガバナンス)を中心とした社会の課題や期待に対する取り組みを実行していく体制を構築しています。

また、ESG への取り組みを加速させ、持続可能な社会の実現と永続的な企業価値の向上を目的として、サステナビリティ基本方針を策定しています。サステナビリティ基本方針では、社会全体の Well-being を増やすことをパーパスとし、みなさまの SX(サステナビリティトランスフォーメーション)パートナーとなるべく活動をしています。

※トランスコスモスは、トランスコスモス株式会社の日本及びその他の国における登録商標または商標です

※その他、記載されている会社名、製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です

(トランスコスモス株式会社について)

トランスコスモスは 1966 年の創業以来、優れた「人」と最新の「技術力」を融合し、より価値の高いサービスを提供することで、お客様企業の競争力強化に努めて参りました。現在では、お客様企業のビジネスプロセスをコスト最適化と売上拡大の両面から支援するサービスを、アジアを中心に世界 27 の国と地域・163 の拠点で、オペレーショナル・エクセレンスを追求し、提供しています。また、世界規模での EC 市場の拡大にあわせ、お客様企業の優良な商品・サービスを世界 46 の国と地域の消費者にお届けするグローバル EC ワンストップサービスを提供しています。トランスコスモスは事業環境の変化に対応し、デジタル技術の活用でお客様企業の変革を支援する「Global Digital Transformation Partner」を目指しています。(URL: <https://www.trans-cosmos.co.jp>)